

第2学年 国語科学習指導案

児童 2年1組 男13名 女11名
指導者 前野 美沙

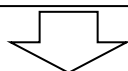
単元名

人物の様子を想像して、音読劇をしよう。

学習材名「名前を見てちょうだい」（東京書籍2年下）P9～P23

<主となる指導事項>

◎場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。（C読むこと（1）ウ）



<付けたい力>

◎登場人物や場所の移り変わりに気を付けて場面を分け、場面の様子について登場人物の行動を中心に様子を豊かに想像しながら読む力。

<単元の言語活動>

◎登場人物の行動を中心に様子を想像し、想像したことを音読劇で発表する。

1 単元について

(1) 子どもの実態

子どもたちは、文学的文章を読む学習において、「サラダでげんき」（東京書籍1年下）で、登場人物の行動に着目して誰が何をしたのかを考えながら物語を読んだり、物語がいくつかの場面からできていることを学んだりしてきている。また、「お手紙」（東京書籍1年上）では、物語の場面を捉え、出来事の順序に沿って登場人物の行動を確かめ、その行動を中心に想像を広げながら読む学習をした。叙述や挿絵を手掛かりにして、登場人物の行動や会話から想像したことを吹き出しに書く活動の中で、場面ごとに人物の行動について想像することができるようになってきた。しかし、子どもたちは、会話文以外の様子を表す言葉を見付けたり、場面の様子や登場人物の行動を豊かに想像したりする力はまだ十分とは言えない。さらに、昨年度実施した標準学力調査や5月末に実施した国語科に関する意識調査において、登場人物の様子を読み取ることを苦手としている子どもが約半数いるという状況である。

以上のことから、本単元では「登場人物の行動を中心に様子を想像し、想像したことを音読劇で発表する」という言語活動を位置付け、登場人物や場所の移り変わりに気を付けて場面を分け、場面の様子について登場人物の行動を中心に様子を豊かに想像しながら読む力を身に付けることをねらいとした。

(2) 学習材について

本学習材「名前を見てちょうだい」は、お母さんからもらった名前の刺繍入りの帽子を中心に展開する物語文である。「強い風が吹いてきて、帽子をさらっていきました。」が場面転換のきっかけとなっており、主人公であるえっちゃんが、きつねや牛と出会いながら、最後に大男と対峙する場面構成になっている。場所の変化と、えっちゃんが新たに出会う人物に着目することにより場面の移り変わりを把握

しやすい。新たな登場人物に出会うたびに、えっちゃんと人物とのやりとりが繰り返され、子どもたちは展開を楽しみながら場面の様子について豊かに想像を広げて読むことができるだろう。また、登場人物の動きや表情も多様で、会話文も多いため、役割を分担して読んだり劇化したりするのに適した学習材であると考えられる。

(3) 言語活動の特徴と指導事項との関連

本単元では、「登場人物の行動を中心に様子を想像し、想像したことを音読劇で発表する」を単元の言語活動として設定する。単元のゴールとして、人物になりきって音読劇を発表することを位置付けることにより、人物の様子を想像する必要感が生まれると考える。登場人物の様子を想像するためには、場面の中で描かれる登場人物の行動や会話を捉えることが必要である。物語を「時」「場所」「人物」の三つの観点で場面分けをし、それぞれの場面の登場人物の行動を中心に様子を想像させる。そして、音読をする際には、動きを付けるなど、人物になりきって想像した様子を表現させたい。

(4) 指導に当たって

第一次では、初発の感想や「お手紙」の学習で音読劇を発表した振り返りを基に、「人物の行動を中心に様子を想像して、音読劇をしよう」という学習のゴールを確かめ、子どもが目的意識や相手意識をもって学習を進められるようにしたい。

第二次では、第2時で時間の経過と登場人物や場所の移り変わりに気を付けて、自分で場面を六つに分ける。場面の様子について、登場人物の行動を中心に様子を豊かに想像する為に、以下の手順で学習を進めていく。様子が分かる言葉を明確に捉えさせる為に、様子が分かる言葉にサイドラインを引かせる。その後、想像したことをノートに書かせ、自分の考えをもたせる。登場人物の様子を豊かに想像させる為、グループや全体での学び合いを意図的に展開に位置付けたい。そのうえで、想像したことを音読で表現させる。音読させる際には、想像したことが聞き手に伝わるように意識して音読させ、第三次の音読劇へとつなげていきたい。

第三次では、音読劇の発表に向けて、読み方の工夫を考え、練習をする。想像したことを基に工夫しながら音読劇をすることで、第二次での学びを生かす場としたい。また、発表の際には、お互いのよいところを伝え合い、学習の成就感や達成感を味わわせたい。

2 単元の指導目標と評価規準

○音読劇をするという目的をもち、進んで読んだり想像したりしようとする。

【関心・意欲・態度】

◎場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。

【読むこと(1)ウ】

○第2学年までに配当された漢字を読むことができる。

【伝国(1)ウ(ウ)】

[評価規準]

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○登場人物の行動を進んで想像し、音読劇で自分が想像したことを表現しようとしている。	◎登場人物の帽子をめぐる動物とのやりとりに気を付けて読み、登場人物の行動を中心に場面の様子を想像している。 【読（１）ウ】	○第２学年までに配当された漢字を正しく読んでいる。 【伝国（１）ウ（ウ）】

3 単元の指導計画（全 11 時間）

次	時	主な学習活動	指導の手立て	評価とその方法	並 行 読 書
一	1	○学習材を通読し、初発の感想を交流する。 ○付きたい力と単元のゴールを確認し、学習の計画を立てる。	・学習材を通読し、初発の感想を交流させる。 ・「お手紙」の学習での音読劇を想起し、音読劇への目的意識をもたせる。 ・登場人物の行動を中心に場面の様子を想像して読む力を身に付けるために音読劇をすることを確認する。	関進んで学習材を読み、感想を発表し合い、音読劇に興味・関心をもっている。 (行動観察・ノート)	
二	2	○場面の構成を捉える。	・時間の経過と新しい登場人物の登場や場所が移り変わることに着目させて場面を分けさせる。	読場面ごとに出てくる人物や場所をとらえ、場面を捉えることができる。 (発言・ノート)	
	3	○お母さんからもらった帽子が風に飛ばされる場面（一、二の場面）を読み、登場人物の様子を想像する。	・登場人物の行動や様子が分かる言葉を見つけ、サイドラインを引かせる。 ・お母さんから帽子をもらったえっちゃんの様子を想像させる。 ・場面の様子を想像しながら音読させる。	読帽子やえっちゃんの様子が表れている言葉を見つけ、様子を想像しながら読んでいる。 (発言・ノート) 言第２学年までに配当された漢字を読んでいる。	
	4	○えっちゃんがきつねと出会う場面（三の場面）を読み、登場人物の様子を想像する。	・登場人物の行動や様子が分かる言葉を見つけ、サイドラインを引かせる。 ・帽子を返して欲しいえっちゃんの様子を想像させる。	読きつねやえっちゃんの様子が分かる言葉を見つけ、人物の様子を想像しながら読んでいる。 (発言・ノート)	

		<ul style="list-style-type: none"> ・場面の様子を想像しながら音読させる。 	<p>言第2学年までに担当された漢字を読んでいる。</p>	並 行 読 書
5	○えっちゃんときつねが牛と出会う場面（四の場面）を読み、登場人物の様子を想像する。	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や様子が分かる言葉を見つけ、サイドラインを引かせる。 ・帽子を返して欲しいえっちゃんの様子を想像させる。 ・場面の様子を想像しながら音読させる。 	<p>読牛やえっちゃん、きつねの様子が分かる言葉を見つけ、人物の様子を想像しながら読んでいる。 (発言・ノート)</p> <p>言第2学年までに担当された漢字を読んでいる。</p>	
6	○えっちゃんときつねと牛が大男と出会う場面（五の場面）を読み、登場人物の様子を想像する。	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や様子が分かる言葉を見つけ、サイドラインを引かせる。 ・大男に臆することのないえっちゃんの様子を想像させる。 ・場面の様子を想像しながら音読させる。 	<p>読大男の様子が分かる言葉を見つけ、人物の様子を想像しながら読んでいる。 (発言・ノート)</p> <p>言第2学年までに担当された漢字を読んでいる。</p>	
7 本 時	○えっちゃんが大男に立ち向かう場面（五の場面）を読み、登場人物の様子を想像する。	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や様子が分かる言葉を見つけ、サイドラインを引かせる。 ・えっちゃんが帽子を返してほしくて、怒っている様子を想像させる。 ・場面の様子を想像しながら音読させる。 	<p>読えっちゃんの様子が分かる言葉を見つけ、様子を想像しながら読んでいる。 (発言・ノート)</p> <p>言第2学年までに担当された漢字を読んでいる。</p>	
8	○えっちゃんが遊びに出かける場面（六の場面）を読み、登場人物の様子を想像する。 ○文章全体を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や様子が分かる言葉を見つけ、サイドラインを引かせる。 ・えっちゃんの帽子が帰ってきて嬉しい様子を想像させる。 ・場面の様子を想像しながら音読させる。 	<p>読全体を振り返って、人物の様子を想像しながら、工夫して音読している。 (音読・ノート)</p> <p>言第2学年までに担当された漢字を読んでいる。</p>	
三	9 ○役割を決めて音読劇の練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・想像したことが聞き手に伝わるように読み方を考えさせる。 	<p>関音読劇に向けて、様子が分かるような読み方を進んで考え、練習している。 (行動観察・ノート)</p> <p>言第2学年までに担当された漢字を読んでいる。</p>	

	10	○想像したことが聞き手に伝わるように音読劇の練習をする。	・1年生に物語の内容が伝わるように音読劇をすることを意識させ、登場人物の動作も考えながら音読劇の練習をさせる。	<p>読 場面の様子を想像して読み、読み方や動作を工夫して表現している。 (行動観察・音読)</p> <p>言 第2学年までに担当された漢字を読んでいる。</p>	並 行 読 書
	11	○1年生に音読劇を発表し、単元の学習全体を振り返る。	<p>・1年生に場面の様子が伝わるように読み方や動きに気を付けて音読劇をさせる。</p> <p>・読み取りを生かして、様子が伝わるように発表できたかを振り返らせ、達成感をもたせる。</p>	<p>読 場面の様子を想像して読み、読み方や動作を工夫して表現している。 (行動観察・音読)</p> <p>言 第2学年までに担当された漢字を読んでいる。</p>	

4 本時の指導 (7/11)

(1) ねらい

大男に立ち向かうえっちゃんの様子を、えっちゃんの行動を中心に想像を広げながら読むことができる。

(2) 展開

	学習活動・学習内容	指導の手立てと評価
導 入	1 本時の学習課題を確認する。	○前時までの読み取りを掲示等で振り返らせ、本時の場面を確認させる。 ○五の場面の人物や出来事を確認させる。
5 分	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">五の場めんのえっちゃんのようにすをそうぞうしよう。</div> 2 課題解決の見通しをもつ。	○えっちゃんの行動や会話文に着目して、様子を想像していくことを確かめる。
展 開 30 分	3 学習課題を解決する。 ・学習場面の音読をする。(指名読み) ・えっちゃんの様子が表れている言葉を見つけ、サイドライン引く。 ・「あたしのぼうしをかえしなさい。」と言ったえっちゃんの様子を想像し、ノートに書く。 ・えっちゃんの様子について想像したことをグループで交流する。	○音読を聞きながら、えっちゃんの様子が分かる言葉にサイドラインを引かせる。 ○えっちゃんの様子が強く表れている会話文「あたしのぼうしをかえしなさい。」をなりきりポイントとする。 ○読み取った様子について、どうしてそう思うのか、どの言葉から考えたのか、グループで質問し合いながら交流させる。 ○伝え合いに必要な言葉を提示し、参考にさせる。 ○交流して更に想像できたことはノートに書き足してもよいことにする。

	<p>・えっちゃんの様子について全体で想像する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「あたしのぼうしをかえしなさい。」</p> <p>・怒っているから強く言っている。</p> <p>・きりりとした目。</p> <p>・胸を張って堂々としている。 等</p> </div>	<p>○えっちゃんの様子について想像を広げて読むことができるように、意図的に指名して発言させたり、動作をつけて音読をさせたりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><評価規準></p> <p>A えっちゃんの様子分かる言葉を見つけ、根拠をもって様子を想像して読んでいる。</p> <p>B えっちゃんの様子分かる言葉を見つけ、様子を想像して読んでいる。</p> <p>Bに到達させるための手立て</p> <p>挿絵やこれまでの読み取りをもとにして、えっちゃんになったつもりで様子を考えさせる。</p> </div>
<p>ま と め 10 分</p>	<p>4 学習を振り返る。</p> <p>・まとめとして想像したことを音読で表現する。 【ペア】</p> <p>・本時の学習について振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><ふり返りの観点></p> <p>◎えっちゃんの様子を想像して読むことができたか。</p> </div> <p>5 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>○えっちゃんの様子について、どんな風に読みたいかを言ってから音読をし、聞き手は、音読の感想を伝えるようにする。</p> <p>○本時の学習を振り返り、学んだことを確認させる。</p> <p>○次時の学習内容を確認し、家庭音読につなげる。</p>

5 板書計画

